

学校コラボレーター通信 No.21

平成26年12月12日 山県市教育委員会生涯学習課

第2回学校コラボレーター研修会 平成26年10月28日(火) 13時30分～16時

参加者：58名
於：市庁舎3階大会議室



1 渡辺課長講話 『本物の学力』と学校コラボ

(1) 『学力』って、何だろう？

「バーチャル」(仮想)でない「リアル」(現実)な経験に基づいた

『知識』『技能』+『活用(応用)』=『学力』ではないだろうか。それが『生きる力』です。

(2) だれが子どもを教える(導く)べきか？

「先生」とは先に生まれた者です。先に生まれた者は、次世代へ大事なものを伝える使命があります。

- ・学校の先生は、基礎学力をカリキュラムに沿って教えます。

- ・地域の先生は、長い人生から得た価値(経験と知恵と人間の生き方)を活動しながら伝えます。

それぞれがお互いに敬意を払い、役割を自覚しながら、協働して子どもを育てることがコラボです。山県市には、その環境が整っています。

(3) 今後、どのように活動を創っていくか？

- ・「連携」は難しい。学校内でも難しい。まして学校外の地域の人との連携はもっと難しい。そこでつなぐ役割をはたすのが、コラボレーターの皆さんです。

- ・「細かな打ち合わせ」は難しい。担任教師は直接子どもと接する時間を要し、授業を圧迫することを避けたい。電話1本で全てが整うよう、子どものためになる活動ができることが望ましい。

- ・子どもたちに本物の学力を養うための、地域と共にある山県市自慢の「学校コラボ」です。より成熟した「学校コラボ」を一步一步めざしていきましょう。

- ・学力づくりへのかかわり(長期休業、土・日曜日に)

- ・コラボ活動のつなぎ(親同士のつながりを強める保護者の参加)

- ・活動内容の充実(地域を知る、地域の人の生き方)

3 渡辺課長のコメント

- ・日本人の知恵を教えることや高齢者へのリスペクト(尊敬の念)が必要です。

- ・基礎学力をつけるために、コラボの皆さんの協力をさらにいただけたらありがたいです。

- ・地域創生の動き(ふるさと学校)が、山県市ではできつつあり、いっそう充実することを願っています。

2 ワークショップ(6つのグループの発表から)

(1) こんなコラボ活動を行っています

米作り(田起し・田植え・世話・稲刈り・餅つき)
野菜づくり 味噌づくり 豆腐づくり
読み聞かせ 図書館整理 郷土芸能の伝承
学校施設の充実 部活動の支援 生き物の飼育
見守り隊 通学路点検 地域でのふれあい活動

(2) こんな成果があります

- ・地域と子どものふれあいや交流が充実してきた。(活動内容や参加者の増加、通学時のあいさつなど)
- ・子どもの笑顔がやりがいになる。

(3) よりよいコラボ活動にするために考えました

- ・学校と地域の相互理解、そのための情報発信

ふれあい学習

5つの地区で高齢者から学ぶ

伊自良南小学校



9月27日、伊自良南小では、「ふれあい学習」を行いました。この学習は、平成7年頃に「ふれあい集会」としてスタートし、その6年後の平成13年度に「ふれあい学習」と名称を変更。現在まで続いている長い歴史を持った取組です。自ら学び自ら考える力など「生きる力」を子どもたちが主体的に身につけていくために、学びの場を積極的に地域に求めた経緯があります。老人クラブを始めとする地域の皆さんが「地域先生」になって、子どもたちを育てているのです。

今年度は、5地区で総勢約100名の皆さんの協力がありました。材料や会場の準備、子どもたちへの説明など様々なことを行いました。

小倉：座禅体験、ドミノ倒し
大森：グランドゴルフ、ジェンガ、はり絵など
藤倉：紙トンボ、スカットボール、将棋など
大門：お手玉作り、折り紙

洞田：竹工作(竹馬、竹ぼっくり、水鉄砲など)
老人クラブや保護者の皆さんとふれあう場は、子どもたちにとって貴重なものです。気配り、言葉遣い、声掛け、リーダーとしての段取りや行動など、多くのことを学ぶことができました。

地域の皆さんにとっては、子どもたちの笑顔が、何よりのお礼でした。また、来年度の活動への意欲となりました。

職場体験

生きる力を学ぶ

美山中学校



10月23日(木)、24日(金)の2日間、美山中2年生の生徒が職場体験を行いました。美山中学校区の企業や保育園、図書館、消防署、福祉施設など、全部で20の事業所の協力を得ました。実際の職場で普段見ることのできない作業まで体験しました。

大人への入り口にある生徒にとって、社会の一員としての自覚、望ましい勤労観などを学ぶ大変貴重な機会となっています。

生徒の感想から

「2日間を終えて、ずっと立っていたので疲れました。1日目は接客、2日目は皿拭き。皿拭きは、いろいろな皿があり、水滴ゼロにすることが大変で疲れしました。この2日間で学んだことを今後に生かしたいです。」

事業所の皆さんから

「あいさつがしっかりできているからとても良い。」
「物怖じしないで、自分から進んで取り組んでいる姿がよい。」

子どもたちが地域の皆さんに支えられて学ぶ活動は、地域の「よさ」と同時に「課題」を意識するきっかけにもなります。コラボ活動を通しての、地域の「ひと、もの、こと」とのふれあいが、今、声高に叫ばれている「地方創生」につながっていくのではないかと思います。